

法人化とJチームについて

5月5日付けで「富山アトラスFC誕生」「富山からJチームを」の見出しで掲載された新聞記事を見て驚愕しています。それは、「アトラス」という会社からも「ヴァリエント富山」チームからも、ここまでに至った経緯の説明や報告を一切受けていません。したがって、当協会役員会では議題としては勿論、話題としても採り上げられた事が皆無であったからです。

ご存じのことと思いますが、富山県にはJFL参戦6年目のアローズ北陸、5年目となるYKKAPの2チームが存在します。殊に、本年は両チームとも選手の大型補強を行い、一段と逞しさを増して戦っており、虎視眈々と上位を狙っています。

富山県サッカー協会はJリーグ加盟チームを、以前からJに一番近い位置にいるこの2チームに絞り、その活躍を大いに期待し、110万県民の皆さんと共に応援してきました。この方針は今後も変わらないものと思っています。

ご覧になった方はおわかりと思いますが、新聞記事に「富山県サッカー協会」の名称は載っておりません。当記事が富山県サッカー協会を無視して掲載されたことは誠に遺憾であり、アトラス社長に当協会の考え方・方針を伝えると同時に強く抗議しました。

さて、富山県サッカー協会は現在社団法人化に向けて準備中であります。法人として権利や義務の主体となれる集団に生まれ変わろうとしています。同時に県民の皆さんの希望に応えるべく、Jリーグ参戦チーム誕生に向けて、その組織作りにも思いを巡らせているところであります。

富山県サッカー協会は法人化によって、県民の皆さんから信頼され親しまれる協会として、皆さんの協力を得ながら、Jチーム誕生に向けて努力していきたいと思っています。

今後も更なるご支援をお願いします。そして競技場へ足を運んでいただき戦うJFL、アローズ北陸とYKKAPに力強い声援をお願いします。

2005. 5. 25

富山県サッカー協会

会長 澁谷 茂樹

